

本日は、学級懇談会というせっかくの機会ですので、携帯電話・スマートフォン（以下、スマホ）やSNS、ネット関係について触れたいと思います。

現在、携帯電話・スマホをお子様に持たせているご家庭、あるいはこれから持たせようかと検討中のご家庭、またタブレットなどでLINEやFacebook、InstagramなどのSNSや通信ゲームアプリのみ使用可能となっているご家庭など、様々ではないかと思います。その際のフィルタリングやご家庭での使用についてのルール、他者とのコミュニケーションの際の注意点など、どのようになっているのでしょうか。ここ最近、所持率の増加とともに、携帯電話・スマホに関係するトラブルが増えているのが現状です。この機会に改めて各ご家庭で携帯電話・スマホの使い方について確認し、話し合っていただければと思います。

ネット上での子どもたちの安全は、家庭で責任をもって守る！

以下のデータは、総務省で行われた「令和6年度 青少年のインターネット利用環境実態調査（内閣府）」の結果の抜粋です。（インターネットでも閲覧することが可能です。）

青少年のインターネット利用率は **98.2%** で、学校種別で見ると、中学生では **98.1%** がインターネットを利用していると回答しています。内容としては、電子メール、SNS、動画・音楽視聴、オンラインゲーム、電子書籍、ショッピングなどが行われています。インターネットを利用する機器は、「スマートフォン」「契約していないスマートフォン」「学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等（GIGA 端末）」「ゲーム機」「テレビ（地上波・BS等は含まない）」「自宅用のパソコンやタブレット等」などがあります。

また、中学生の使用時間を見てみると、平均値が**約5時間2分** で、3時間以上の使用率が**74.4%** で、5時間以上の使用率が**44.8%** であり、すべての数値が年々上がっています。

使用率、所持率、使用時間などの増加により、**トラブルにあう割合も増えています**。

もちろん、使用率が高くなり、使用時間が増えれば「ネット（スマホ）依存症」になるリスクも高くなっていきます。また、トラブルも「ネットいじめ」「個人情報漏洩」「ゲーム内での課金トラブル」「優良違法サイトへのアクセス」「ネットで知り合った人との交流によるトラブル」「プライバシーの侵害」「スマホ・ゲーム依存」など、多岐にわたる内容となっています。そして、そのトラブルに対して効果的な対処が行えない状況になってしまっているケースが多いようです。

学校でも情報リテラシーの授業を行いますし、定期的に携帯電話やスマホの使用の仕方、インターネットの怖さ、SNSのトラブルなどの話や講演会などを行います。しかし、正直なところトラブルは増える一方なのが現状です。（本校でも、毎年のように携帯電話・スマホ、インターネット、SNSなどの利用について講話を行ったりと、学活や道徳で授業を行ったりしましたが、残念ながら携帯電話・スマホ、インターネット、SNSなどのトラブルが複数ありました。）

もちろん、学校としましても生徒指導部を中心に今後も様々な形で使い方や相手を思いやる気持ち、相手の立場に立って考えること、公共心・公德心…などの指導をこれまで以上に行っていきませんが、学校だけではどうしても限界があります。携帯電話・スマホやインターネット接続機器の多くはご家庭にあるものがほとんどかと思っていますので、ご家庭でも責任をもって子どもたちを守るために最善を尽くしていただければありがたいです。より一層のご協力をお願いいたします。

子どもたちを守るためにできること！

中学生の子どもをもつ約8割の家庭がスマホの家族ルールを決めているようです。しかし、中学生の認識としては約7割という結果が出ており、保護者と子どもの間に認識の差があるようです。子どもにルール無しでスマホを持たせると、高い割合でスマホ依存症やトラブルになってしまう可能性があるのではないかと思います。また、ネットリテラシーも低い段階ですので、ネットで知り合った人との SNS でのトラブルや違法サイトへのアクセス、高額料金のトラブルなどのリスクも高いです。

まずは、**ご家庭で使用に関してのルールをしっかりと定めておくこと**が、子どもを守る手立てになるのではないかと思います。では、各ご家庭で具体的にどのようなルールを定めているのか…以下は、モバイル社会研究所（NTT ドコモの研究所）の調査結果を抜粋したものです。

- スマホを使うのは決められた時間だけ
- スマホを使うのは決められた場所だけ
- 食事中にスマホを利用しない
- 勉強中&お手伝い中のスマホ利用禁止
- ながらスマホ(歩きながらや、自転車に乗りながらのスマホ利用)はしない
- 面識のない人とは連絡や連絡先の交換をしない
- アプリをダウンロードするときには親に相談し、追加料金がかからないようにする
- 悩みや困ったことがあったらすぐに相談する
- LINE・Twitter・掲示板などで個人情報や友達の悪口を書かない
- LINE 以外の SNS で情報発信しない
- ネット上で自分の体や顔を安易に見せない
- 子どもの LINE やメールなどのメッセージを親が確認する

さらに、中学生のスマホには「**SNS〈ダイレクトメッセージ（以下、“DM”）も含む〉のルール**」を決めてください。中学生のスマホでのコミュニケーションツールの多くは「LINE」や「Instagram」などの SNS 内の DM」で行われています。その分、それらを使用することのトラブルも年々増えています。最近では、国・県・市が子どものスマホへの**フィルタリング導入やペアレンタルコントロールの実施**に力を入れており、フィルタリングアプリの機能もかなり向上し、以前よりも子どもが安全にスマホを利用できる環境ができています。しかし、「LINE」や「Instagram」などの SNS 内の DM」にはフィルタリングが適用されないという点に注意が必要です。

「家族との使用ルール」や「フィルタリング」は学年や家庭環境、教育方針などによって様々違いがあると思います。しかし、これから成長していく子どもたちを守るために必要なことです。入学や進級をしたこの機会に、すでに「使用ルール」があるご家庭は、使用状況や現状に合ったルールの再検討を、また、「使用ルール」がまだ無いご家庭は、お子様と相談のうえで、ルールを決定するなどし、子どもたちを守るために行動していただきたいと思います。ネットの利用は、今の時代も、そしてこれからも生活と切っても切れない状況であるのは確かです。その中で、ネットの利用自体がダメなのではなく、**大切なことは、「正しく使うこと」**だと思います。子どもが、ご家庭で定めたルールを守れない場合は、親として毅然とした態度で、愛のある対応をしていただくよう、心からお願いいたします。

最後に…もうご存じの保護者や以前の生徒指導通信で目にした方もいらっしゃると思いますが、「スマホ18の約束」のご紹介です。「スマホ18の約束」とは、アメリカのママブロガーが13歳の子どもにスマホをプレゼントする際に一緒に渡した「スマホの家族ルール」のことです。そのルールの内容があまりにも素晴らしく、多くの方の共感を生み、アメリカの ABC ニュースでも取り上げられ話題になりました。その後、日本でも東京新聞に掲載され、広まったお話です。参考までに、お読みいただければと思います。なお、原文は英語なので、日本語訳によって若干ニュアンスが異なりますので、ご了承ください。

【スマホ18の約束～母と息子が交わした約束～】

- ① このスマートフォンは、母が買い与え、料金も払っているものです。あなたに貸しているスマートフォンです。
- ② パスワードは、親が管理します。常に報告してください。
- ③ 電話はマナーを守って礼儀正しく、父や母からの電話には必ず出るように。
- ④ 学校がある平日は夜7時半、週末は夜9時になったら、親にスマホを引き渡すこと。夜の間は電源を切り、また朝7時半に電源を入れます。固定電話で、電話すべきではない時間に、メッセージやメール、電話で話すことはいけません。お互いの家族のプライバシーを尊重しましょう。
- ⑤ 学校に持って行ってはいけません。メッセージ、メールではなく直接対話しなさい。人との会話は大切なスキルです。
- ⑥ もし、水や地面に落として故障したり、なくしたりした時の修理や交換の費用はあなたが持ちます。その費用は、自分で準備しなさい。
- ⑦ 人に対して嘘をつくこと、ばかにすること、あざむくことに使ってはいけません。たとえ誘われても、人のためになることを大切に考え、人を傷つけることは参加しません。
- ⑧ 面と向かって言えないことは、スマホを使い、メールなどで言わないこと。
- ⑨ 自分を見つめなさい。友達の親がいる前で言えないことは、メールでも言わないこと。
- ⑩ アダルトサイトは禁止。私とオープンに共有できる情報をウェブで検索してください。何か質問したいことがあれば人に尋ねなさい。なるべく私かパパに聞いてね。
- ⑪ あなたは礼儀正しい子です。それを崩さぬよう、公共の場では電源を切るか、音を切り、しまっておくこと。
- ⑫ 隠しておくべき自分のプライベートや、他人のプライベートの写真を送ったり、受け取ったりしないこと。あなたは賢い子ですが、そうするようになると誘惑されることがあるでしょう。こうした行為は、あなたのこれからの人生を台無しにする恐れがあります。巨大な力をもつネットワーク空間で、一度広まった悪い評判を消すことは困難だからです。
- ⑬ むやみやたらに写真やビデオを撮らないこと。あなたの経験は永遠にあなたの記憶に残るでしょう。
- ⑭ たまにはスマホやゲーム機を家において出かけましょう。携帯がなくても生きていけるようにしなさい。「みんながしていることを逃がすのではないか？」という恐れよりも強くなりなさい。
- ⑮ 様々な音楽と出会ってください。あなたの視野を広げてください。
- ⑯ ときどきは言葉のゲームやパズルや知能ゲームを解いて脳をきたえなさい。
- ⑰ 世界をあなたの目を通して見ましょう。検索する前に、考えることです。
- ⑱ あなたがミスを犯したなら、スマホを取り上げます。そして、最初から考え直していきましょう。問題はあなただけの問題ではなく、私達家族で答えを出していきましょう。

スマホの利用時間や、顔の見えないSNSの誹謗中傷を防止するルールなど、かなり広い範囲をカバーできるルールになっています。もし、これからお子様にスマホを持たせるための家族ルールを考えるなら、ぜひ参考に見てはいかがでしょうか。これを基本として、各ご家庭に合ったルールを決めて、子どもたちが正しく、安全に利用できるよう、よろしくお願いいたします。